

FY2019活動報告

2020年7月



企業の資金調達の円滑化に関する協議会

CFTAJ Corporate Finance and Treasury Association of JAPAN

FY2019活動計画について



FY2019は企業の資金調達の円滑化の観点から重要と考えられる課題・問題点について、重点的かつ機動的に議論を行うとともに、検討結果の実現に向けて関係各方面に働きかけを行うことや経済・金融環境の変化を捉えた会員同士連携・環境変化への適応支援と個別の実利の追求を目的とした計画を次のとおり策定いたしました。

(1) POT方式を含む社債発行の論点整理を通じた社債市場の整備の働きかけ

- (例) ・ POT方式導入を検討する会員企業とメリット・デメリットなどの論点を整理
・ POT方式での起債経験のある事業会社との意見交換を実施
・ 社債発行条件面における市場整備という観点から日本証券業協会等への働きかけ

(2) 貸金業法規制のグループファイナンスへの更なる適用緩和に関する働きかけ

- (例) ・ グループファイナンスに対する全般的な適用除外を引き続き金融庁へ要望
*貸金業法規制緩和は一定程度実現（2014年・2017年法改正）

(3) グリーンファイナンス動向の共有、グリーンボンドを始めとするESG債の発行に関する検討

- (例) ・ グリーンファイナンスに関する動向やESG債発行における留意点や課題につき意見交換を実施

(4) LIBORに代わる金利指標選定に係る情報収集・会員企業への情報提供、および必要に応じた意見表明

- (例) ・ 日本円金利指標に関する検討委員会の関係先との意見交換を実施
・ 借入・デリバティブ等の契約に係る円滑な変更手続きに向けた会員企業間の意見交換の実施
・ 会員企業の課題認識を踏まえた日本円金利指標に関する検討委員会の関係先等への働きかけ

(5) 会員企業のニーズを応じた勉強会の実施並びに同様の関心事項を持つ企業間のディスカッション機会の提供

- (例) ・ ①グローバルキャッシュマネジメント（金融子会社の機能高度化）、②超～超々長期債、
③財務戦略（格付会社選定基準、金融機関政策、株主還元政策、調達戦略等）、④財務分野における生産性向上、
⑤財務（経理）分野人材育成策 等

FY2019活動計画の実施スケジュール

2019年8月～2020年7月までの1年間において、後半はコロナ禍により活動を延期または中止とする等の対応としつつ、前頁の「FY2019活動計画」を基本としながら会員企業から寄せられた相談並びに要望等に対応してまいりました。

	2019年					2020年						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
(1) 社債市場の発展		企画詳細 検討・準備			実施 ▼							
(2) 貸金業法規制緩和	企画 統合	情報収集の継続										
(3) ESG債		企画詳細 検討・準備			実施 ▼							
(4) LIBORに代わる金利指標		会員企業からの個別相談受付、情報収集、金融機関との意見交換										
(5) 会員企業ニーズに応じた情報交換	企画 統合		企画詳細 検討・準備		実施 ▼	企画詳細 検討・準備	延期 ▼					
(6) 会員企業からの個別の相談・要望		都度対応										
(7) 他団体/企業等の要請への対応・意見交換		都度対応										

FY2019活動内容 (1)(3)

SDGs経営/サステナブルファイナンス・ワークショップ

- 社債市場の発展に向けた取り組みは当会が長年手掛けてきたテーマですが、近年は ESG・SDGsの経営戦略への統合、グリーンファイナンスに関する規制やガイドライン等の作成、およびESG債発行の更なる増加等の流れもあり、専門家より自社の戦略実現に資する取り組みや投資家動向を聞きたいとの要望・意見が寄せられておりました。
- 2019年12月4日、経済産業省様、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社様をプレゼンターとして招聘し、SDGs経営のポイントや投資家動向・ESG債発行実務に関する半日のワークショップを開催しました。24社47名様参加があり活発な意見交換と質疑応答が行われました。



講師	テーマ	参加会員からの声
経済産業省 経済産業政策局 産業資金課 課長補佐 高津戸 拓也 様	SDGs経営のポイント	<ul style="list-style-type: none"> • 「基本的な内容から現在の最新動向まで説明頂き、知識がない自分にとって非常に役立った」 • 「SDGsとESG投資の関係が整理され、貴重な資料をいただきました」 • 「“SDGs経営”の具体的な内容を学ぶことができました」 • 「SDGsに対する政府の取り組みについて、全体感が良く分かった」
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 デット・キャピタル・マーケット部長 マネージング・ディレクター 池崎 陽大 様	国内外の投資家動向 ESG債の発行実務	<ul style="list-style-type: none"> • 「資金調達の実務に繋がる内容で役立った」 • 「ESG債の動向について、具体的に説明頂きよく理解できた」 • 「資料は網羅的でマーケットの実情も大変わかりやすい説明で勉強になりました」 • 「グリーンbond発行済ではあるが、最新動向のアップデートとして有益でした」

* 発表順

FY2019活動内容 (4)(5)

LIBORの恒久的停止に係る相対貸出のフォールバック条項の参考例(サンプル)等に関する意見交換会

- 「FY2019活動計画」のテーマとして、金利指標変更による事業会社の資金調達への影響を会員企業間で共有・把握し考察を深めていくこととしました。
- 会員企業からは代替金利指標への移行に向けた計画やスケジュール等を「日本円金利指標に関する検討委員会（以下、検討委員会）」の関係先より直接ご説明を受けるとともに意見交換を行いたいとの声が寄せられておりました。
- 検討委員会傘下の貸出サブグループ事務局をご担当の一般社団法人全国銀行協会様より相対貸出のフォールバック条項の参考例について、事業会社の意見を聞きたいと当会にお声がけいただきました。同参考例の作成に協力されている森・濱田松本法律事務所様も招聘し、会員各社の課題認識と対応の検討の一助にすることを目的に2020年1月15日に開催したものです（19社34名様ご参加）。
- 契約変更手続きにおける実務的な論点から、全国銀行協会様におけるLIBORの恒久的停止に係る取り組みに関して活発な意見交換が行われました。



講師	テーマ	参加会員からの声
<p>一般社団法人全国銀行協会 業務部 調査役 関口 達仁 様</p> <p>同 副調査役 大峰 裕之 様</p> <p>森・濱田松本法律事務所 パートナー 弁護士 佐藤 正謙 様</p>	<p>全銀協様ご作成のLIBOR公表停止に係る銀行と事業会社の契約条項のサンプルに関するご紹介および意見交換</p> <p>全銀協様におけるLIBORの恒久的停止に係る取り組みに関するご紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「直接に全銀協様及び佐藤先生のご説明を受けられたことが大変良かった。全銀協様の丁寧な事前ご説明を頂き有難うございました」 ● 「今後も日本円金利指標に関する検討委員会の関係先との定期的な情報交換の機会を設けていただけるとありがたい」 ● 「検討状況の進捗に合わせて、定期的なアップデートをいただきたい」

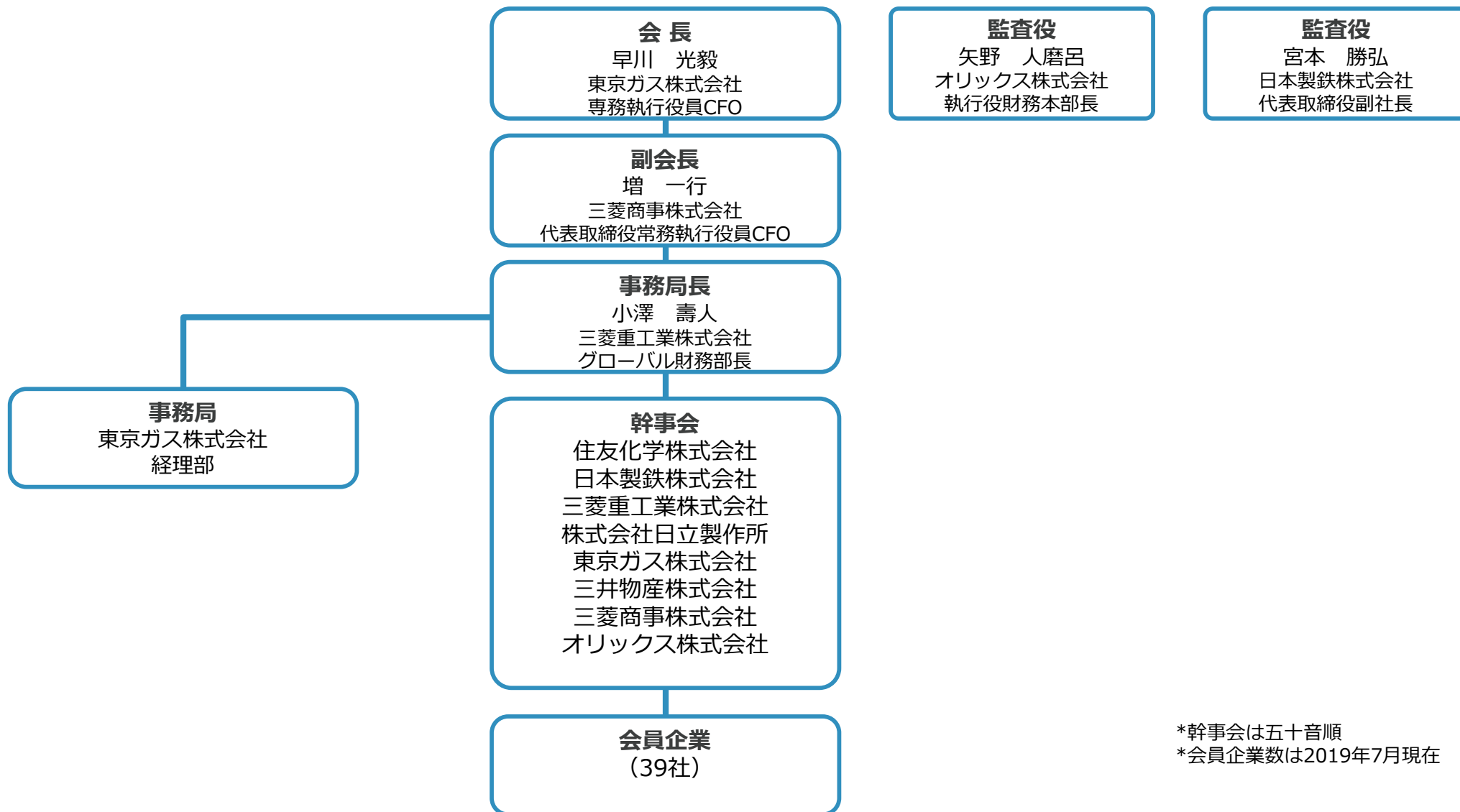
FY2019活動内容（その他）

テーマ	内容
(1) 社債市場の発展	SDGs経営/サステナブルファイナンス・ワークショップを2019年12月4日に開催した中で、ESG債マーケット動向に関するスタディと会員企業間の情報交換
(2) 貸金業法規制緩和	規制動向に関する継続的な情報収集
(5) 会員企業ニーズに応じた情報交換	<p>当会の活動に係る意見交換会や個別の要望を踏まえたESG債に関するワークショップやLIBORに代わる金利指標への対応として、日本円金利指標に関する検討委員会の関係先や会員企業間の情報交換等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●SDGs経営/サステナブルファイナンス・ワークショップ（2019年12月4日） ●LIBORの恒久的停止に係る相対貸出のフォールバック条項の参考例（サンプル）等に関する意見交換会（2020年1月15日） ●LIBORに代わる金利指標に関する会員企業間の情報交換 ●名刺交換会の実施による会員企業間の連携
(6) 会員企業からの個別の相談・要望	<ul style="list-style-type: none"> ●法規制を巡る他社の対応状況の照会 ●当会の活動に関する要望への対応
(7) 他団体/企業等の要請への対応・意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ●他団体、企業主催の各種イベント・セミナー等の紹介 ●他団体等からの要請への対応・意見交換

FY2019 運営体制



- 第29回定例総会（2019年7月31日決議）より下記の組織体制・役員で2019年度の運営を行ってきました。
- 8社の企業で構成された幹事会は定期的を開催され、協議会の運営の中心的な役割を担っています。
- 2020年7月の総会決議を以て、8月1日より新体制となる予定です。



*幹事会は五十音順
*会員企業数は2019年7月現在

会員数推移

